



キズ・油汚れに強いエバール®フィルム®加工

スーパー強化+汚れ防止 (ペット対応)

- キズがつきにくい
- 汚れに強い
- 耐薬品性がある

おすすめの使用場所

- 汚れやキズが気になるホテル・商業施設の廊下・共用部
- 消毒用の薬品などを使う医療・福祉施設
- キズが気になるペット住宅・玄関・廊下

1 表面強度は一般ビニル壁紙の50倍

- 強化配合の塩ビ樹脂の表面にエバール®フィルムをラミネートしています。
- 最もキズに強い汚れ防止壁紙で、表面強度は一般ビニル壁紙の50倍！
- ホテル・商業施設の廊下や共用部、医療・福祉施設での車椅子のキズ対策はもちろん、ペット住宅にもおすすめです。

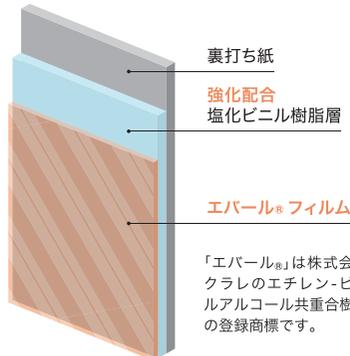
2 汚れを防いで、お掃除らくらく

- エバール®フィルムは油汚れに特に強く、タバコのヤニ汚れや臭いも付着しにくい特長があります。

3 抗菌効果で清潔・快適

- 壁紙表面のエバール®フィルムは抗菌効果に優れているため、清潔な環境づくりに最適です。

■ 壁紙の構造 (イメージ図)



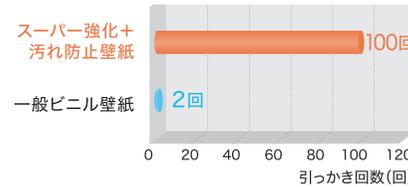
ISO 22196
抗菌加工

無機抗菌剤・練込
表面層
JP0122834X0002D

SIAA マークはISO22196法により評価された結果に基づき、抗菌製品技術協議会ガイドラインで品質管理・情報公開された製品に表示されています。

■ 表面強度性能

スーパー強化+汚れ防止壁紙は、一般ビニル壁紙と比較して約50倍の強度があり、表面強化壁紙よりさらに強度のある壁紙です。



【試験方法】
壁紙工業会「表面強化壁紙性能規定」と同じツメ、摩擦試験機を使用。ただし、ツメの荷重は規定の2倍の400gに設定し、壁紙が破れて裏打ち紙が露出するまでの往復回数を測定。

※データは実測値であり、保証値ではありません。

「表面強化壁紙性能規定」

学振型摩擦試験機にステンレス製ツメを取り付け、200gの荷重で壁紙表面を5往復し、表面の傷つき具合を評価。4級以上を「表面強化」とする。

■ 耐汚染性・耐薬品性

スーパー強化+汚れ防止壁紙は、耐汚染性はもちろん、耐薬品性にも優れています。一般ビニル壁紙には様々なタイプがあり性能が安定しませんが、汚れ防止は表面にフィルム層があるため、汚れや薬品が染み込みにくく、バラツキのない安定した品質を保ちます。

壁紙工業会制定「汚れ防止壁紙性能規(4級以上)」に適合しています。

「汚れ防止壁紙性能規定」

汚染物を付着させ、24時間後、拭き取ったものを目視で判定。4級以上を「汚れ防止」とする。

汚染物質	拭き取り剤	スーパー強化+ 汚れ防止壁紙 (エバール®フィルム)	消臭+汚れ防止壁紙 (PPフィルム)	タフクリーン (クリーンコート)	トップコート	一般ビニル壁紙
コーヒー	水	◎	◎	◎~○	△	△~×
しょうゆ	水	◎	◎	◎~○	○	△~×
水性ペン	中性洗剤	○	○	◎~○	○	△~×
クレヨン	中性洗剤	◎	◎	◎~△	△	×
油性ボールペン	アルコール	○	○	×	xx	×
油性マジック	アルコール	○	○	×	xx	xx
血液	アルコール	◎	◎	-	-	×

薬品名	スーパー強化+ 汚れ防止壁紙 (エバール®フィルム)	一般ビニル壁紙
次亜塩素酸ナトリウム(6%)	◎	◎~○
エタノール(95vol%)	◎	◎~○
過酸化水素水(3.5w/v%)	◎	◎~○
塩化ベンザルコニウム液(10%)	◎	◎~○
クレゾール石鹸液(3%)	◎	○~△

【判定基準】

◎: 汚れが残らない
○: ほとんど汚れが残らない
△: やや汚れが残る
×: かなり汚れが残る
xx: 汚れが濃く残る

【試験方法】

耐汚染性…壁紙工業会「汚れ防止壁紙性能規定」に準拠。汚染物質は規定4物質に「血液」「油性ボールペン」「油性マジック」を追加。
耐薬品性…JIS K 6902Bに準拠。薬品は任意選定。

■ 使用上のご注意

- ・表面強度アップを目的とした凹凸の少ない硬い塩ビ樹脂の表面に汚れ防止フィルムをラミネートした商品のため、施工難易度が高く、施工費が割増になる場合があります。
- ・フィルムのツヤがあるため、天井への使用は光の加減で下地が目立ちやすく、不向きです。
- ・強度が非常に優れていますが、キズや破損が発生しないことを保証するものではありません。また、破損が生じない場合でも、表面の摩耗やツヤ差が生じる場合があります。

- ・タバコのヤニ汚れや臭いが付きにくい特長がありますが、ジョイント部は空気の流れがあるため、壁紙表面と比較して汚れが付きやすい傾向があります。
- ・汚れ防止は、汚れが浸透しにくく落としやすい機能であり、汚れが付かない機能ではありません。汚れの種類や放置時間によっては除去できない場合があります。

■ 施工上のご注意

強化配合の塩ビ樹脂層に、汚れ防止エパールフィルムをラミネートした商品です。エアアが抜けにくく、特に低温時にはフクレが生じやすくなりますので注意が必要です。特に硬い品質が特徴の壁紙ですので、一般ビニルに比べやや硬くカールしやすい傾向があり、寒冷時には出入隅部の収まりが悪くなる場合があります。フィルムによるツヤがありますので、光の加減で下地が見えやすくなる天井には不向きです。あらかじめご了承ください。

● 冬季・寒冷地では室温15℃に暖めて

寒い時期には、壁紙が余計硬くなり施工しにくくなります。室温を15℃以上に上げて施工してください。特に、5℃以下の環境では糊の接着力が弱くなり、フクレや施工不良の原因となります。また、施工効率が下がります。

● 接着剤とオープンタイム

接着剤は、接着強度が高く、濃いものを薄く塗布できる原液タイプがおすすめです。接着剤塗布後、20～30分程度うませ時間をとってください。冬季時には後伸びによるフクレを防ぐため少し長めにとりましょう。表面のフィルムが折れないようにすることがきれいに仕上げるポイントです。接着剤塗布後は、大きくたたみ、上積は避けてください。

● 糊の拭き残し

糊残りがなく、きれいに拭き取ることがきれいな仕上げのポイントです。付着した場合は、きれいな水を使用し濡れスポンジ等でいねいに拭き取り、更にきれいなタオル等で乾拭きしましょう。汚れたスポンジでは糊を拭き取らずに逆に伸ばしてしまうこととなりますので注意が必要です。

● モルタル下地にはご注意ください

基本的にモルタル下地には向きませんが、施工する際には必ずシーラー処理を行ってください。フクレ回避に有効です。

● 糊付け後のたたみ方、養生時のポイント

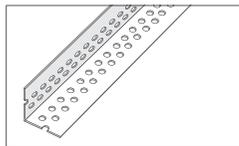
接着剤塗布後は大きくたたみ、上積みを避けてください。フィルムが折れてたたみジワが発生する場合があります。

● なで付けは、プラスチック製のヘラがおすすめ

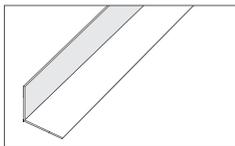
硬い壁紙のため、柔らかい撫で刷毛では圧着やエア抜きが困難です。プラスチック製のヘラを使って、ていねいに繰り返しエア抜きを行ってください。

● 下地コーナー材は穴あきタイプを

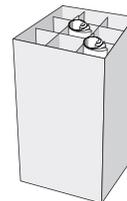
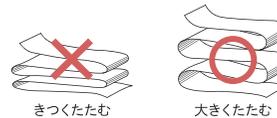
下地コーナー材は、穴あきタイプが有効です。穴あきタイプ以外では接着剤が乾燥せず、壁紙が浮いたり、カビ発生の原因となる場合があります。ただし、穴あきタイプをご使用の場合でも使用環境や施工状況によっては、壁紙の浮きやカビが発生する場合があります。あらかじめご了承ください。



穴あきコーナー材



一般的なコーナー材



専用ボックスは、折れジワ防止だけでなく、運搬にも有効です。

● 貼り付け時のカール癖

一般ビニル壁紙に比べやや硬くカール癖がつきやすい傾向があります。特に巻き芯に近い部分や寒冷時には、材料を逆巻きにするなどカール癖をとってから施工してください。収まりが悪い場合は、ジョイント部や出入隅部にエチレン酢ビ系ボンドを原液で捨て糊するなどの処置を施してください。

● 出隅・入隅は、ボンド捨て糊がおすすめ

出隅・入隅など角の出にくい場合は、下地側にエチレン酢ビ系のボンドを捨て糊するなどの処置を行ってください。また、出隅の角をしっかりと出すためには、角部分の壁紙表面からきれいな布で、角をしっかりと押さえながら擦ってください。

特に注意が必要な商品の施工要領です。
一般ビニル壁紙に比べ施工難易度が高く、施工費が割増になる場合があります。あらかじめご了承ください。
一般的な壁紙の施工方法や、壁紙全般に共通する基本的な注意点は各見本帳の巻末資料にある「取扱上のご注意」をご参照ください。